

岡田万博担当大臣と奥村会長との面談における主な発言内容

2023年7月31日16時～（全建応接室にて）



<岡田大臣>

奥村会長はじめ皆様にご協力いただき、大阪万博のパビリオンの建設が進むよう、宜しくお願ひしたい。大阪および近隣各県の建設企業から、また、力のある建設業者から少しでもお力をいただければありがたい。そのため、国として今からできることを調べ尽して、海外との橋渡しを行い、（商習慣や契約内容の違いによる）色々なトラブルが発生するところには、仲介して取り持って対応する。それと同時に海外の大使と交渉し、パビリオンのデザインを簡素化してもらおうよう交渉していく、もしくは予算を追加してもらえないかと要請している。

<経産省担当官>

国交省と相談し、企業から経産省に対し、情報提供してもらい（当然その情報は企業同士（横方向）で展開しないようにする。）、企業が参加国と協議しているものの、うまくいかないといったケースがあれば、間に入って、政府ベースで参加国を説得し、交渉していきたい。

資材については海外資材を入れるといったことを検討している。また、外国人労働者とかいくつかが要望が出ている。

契約書についても日本の標準約款を英訳してリーガルチェックのうえ、推奨していく予定である。一部の国はそれで行うと表明している。

大阪だけでなく、京都や兵庫、奈良、和歌山といったところから建設業者だけでなく、地元自治体にもお願ひして、職人を集めるようにしていきたい。

<岡田大臣>

（宿舎問題、通勤問題等）大阪市・大阪府ともつめた話をして、支障をなくすよう努力していくので今後とも協力をお願ひしたい。

以 上